

羽村にバイオガス発電所

食品廃棄物が原料

羽村バイオガス発電所（東京都羽村市）は9日、同市内に食品廃棄物が原料のガスによる発電所を完成した。1日80トの食品廃棄物を処理でき、発電出力は毎時1100キロワット。7月中にも産業廃棄物処理業の許可を得たうえで操業し、10月にも発電を始める。

各地から集めた食品廃棄物を分別処理してタンクのために、微生物に発酵させて作ったメタンガスで発電し、売電する。

同発電所はアーキアエナジー（東京・港）が企

画し、総事業費は約35億円。三井住友ファイナンス&リースなどが発電所と同名の特定目的会社に出資して事業を手掛け、アーキアエナジーの完全子会社が運営する。